

1. はじめに

現在、導入済みのイントラネット(社内ネットワーク)を前提にして、下記の2点を可能にするインターネットの導入を提案いたします。

- 要件項目: 1) 全員が電子メールを利用できるようになること。ただし、電子メールアドレスは同一のものを全員で共有してよい。  
2) ホームページの発信とホームページの作成編集を可能にすること。

2. 提案内容

下表を参考にして貴社に最適な方法をお選びください。

項目		一般のブロードバンド	WebArena	自社インターネットサーバ
概要		ADSL <sup>i</sup> ブロードバンドから HP 発信 www.ブロードバンド.ne.jp/~1-ザ名	ADSL ブロードバンドから HP 発信 www.1-ザ名.co.jp	ADSL 社内から HP 発信 www.1-ザ名.co.jp
機能の実現範囲	電子メール機能	全員がメールを利用可能 全員が1つのメールアドレスを共有 各自が個別のメールアドレスを利用	?	
	ホームページ閲覧	(全員)	(全員)	(全員)
	ホームページ発信	作成編集 発信 発信可能なコンテンツ		
	ホームページアドレス	www.ブロードバンド.ne.jp/~1-ザ名 <sup>ii</sup>	www.1-ザ名.co.jp <sup>iii</sup>	www.1-ザ名.co.jp
実施に必要な事柄	セキュリティ対策	ウイルス対策	必要	必要(メールはWebArenaで)
		外部からの攻撃に対する防備 ファイアウォールの導入	必要	必要
投資内容 (投資額別紙参照)	ハードウェア (設置設定必要)	ADSL 用基本設備 <sup>v</sup> ファイアウォール + HUB	ADSL 用基本設備 ファイアウォール + HUB	ADSL 用基本設備 ファイアウォール + HUB サーバに LAN アダプタ増設 サーバに 256MB 増設
	ソフトウェア	メール利用パソコンにワクチン <sup>vi</sup> 1台のパソコンに ホームページ編集ソフト <sup>vi</sup>	メール利用パソコンにワクチン 1台のパソコンに ホームページ編集ソフト	全パソコンにワクチン 1台のパソコンに ホームページ編集ソフト サーバにワクチン
	設定調整 (各パソコン)	メール利用パソコンに セキュリティアップデート <sup>vii</sup> インターネットメール	メール利用パソコンに セキュリティアップデート インターネットメール	全パソコンに セキュリティアップデート
	設定調整 (サーバ)	セキュリティアップデート	セキュリティアップデート	セキュリティアップデート メールサーバ設定 Webサーバ設定 DNSサーバ設定
NTTの契約		フレッツ ADSL	フレッツ ADSL	フレッツ ADSL
ブロードバンドの契約		So-net 他多数から1つ	NTT PC WebArena NTT PC InfoSphere ダイヤミック	NTT PC InfoSphere IP8
運用経費		3,400 円/月 (NTT) <sup>viii</sup> 1,950 円/月 (So-net)	3,400 円/月 (NTT) 6,100 円/月 (NTT PC) 15,000 円/年 (JPNIC)	3,400 円/月 (NTT) 11,000 円/月 (NTT PC) 15,000 円/年 (JPNIC)

<sup>i</sup> ADSL は ISDN に比較し極めて高速である。(最大 150 倍)。また、この高速性が以下に述べるセキュリティアップデートを適時行うために必要。

<sup>ii</sup> So-net の場合、例えば http://www17.u-page.so-net.ne.jp/fj8/契約名/各自のフォルダ名/

<sup>iii</sup> 独自の xxxxx.co.jp や xxxxx.jp ドメインを取得し、名前をつけることが可能

<sup>iv</sup> ADSL MODEM およびブロードバンドルータ(ファイアウォール内蔵)

<sup>v</sup> 全員がメールを利用することから、ネットワーク全体にウイルスやワームの脅威が増える。ワクチンソフトは、できるだけ、中に入ってくるウイルスやワームを検出して削除し、また、中に取り込んでしまい、発病して、パソコンを異常な状態にした場合でも、できるだけウイルスを削除しパソコンを修復してくれる。セキュリティアップデートと組み合わせる事で、より安全性が増す。

<sup>vi</sup> 本提案では1台のパソコンのみにホームページ編集用ソフトを入れていますが、別途追加費用で複数台のパソコンにも入れられる。

<sup>vii</sup> Windows や Outlook など内部のプログラムの誤りによりセキュリティ的な穴が残っている。ここがウイルスやワームに狙われ感染することが多い。マイクロソフトでは、そのセキュリティ的な穴をふさぐため、セキュリティアップデートと呼ばれる修正プログラムの提供を行っている。2002年1月現在、Windows2000 と Office2000 の組合せでは、修正プログラムのサイズは約 100MB となっており、逐次、新たな障害の発見と共に増えている。その適用は、パソコンを弊社へお預かりした上で1台当たり約6時間かけて実施することになる。(時間がかかるため、現地での作業は無理です)

なお実施しない場合、ウイルスなどに対して無防備な状態になり、ワクチンソフトを乗り越えてウイルスが入ってきた場合は確実に感染する。ワクチンソフトを導入している場合も、いったん発病してから、ワクチンで検出削除ということになり、削除できない場合がある。実施を強くお勧めします。

なお、導入後はセキュリティアップデートの支援機能を利用いただき、貴社のご担当の方に逐次更新していただくことができます。

<sup>viii</sup> フレッツ ADSL の費用 2,900 円/月 + スプリッターおよび MODEM レンタル費 490 円/月

